

週報



<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ
～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 希望の主と共に歩む

< 聖 句 >ローマの信徒への手紙15章13節

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる
喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって
希望に満ちあふれさせてくださるよう。

◀神戸教会は2020年に宣教開始70周年を迎えました。▶

「 神の御心は小さな者と共に生きること 」

今日の聖書箇所は新共同訳聖書では二つの小見出しに分かれています。共に「小さな者」という共通するテーマがありますので、一つのお話として読んでいきます。「小さな者」とは誰でしょうか。先週の箇所からの引き続きとして考えると、「子ども」あるいは「子どものようになる人」のことだと思われま。そして、今日の二つの箇所では、これらの小さな者を躓かせる(わなを仕掛け、罪を犯させる)者や軽んじる(相手にしない)者への厳しい忠告が為されています。

確かに「小さな者を守ること」は正しいことですし、されなければならないことです。しかし弟子たちの姿が示しているように、私たちの関心事は「誰が偉いか」。つまり誰が力や名誉や富を持っているかということであり、小さな者を守ることには向いていません。むしろこの世は小さな者を喰いものにする事で成り立っている社会です。ですからイエスさまが小さな者を喰いものになっている人々や軽んじ見下しているような人々に対して厳しい言葉をかけているのは、裁きではなく嘆きと期待の言葉なのです。

私たちはどうでしょうか。小さな者と共に生きていますでしょうか？小さな者と共に生きようとする人々を躓かせようとしたり、軽んじたりしてはいないでしょうか。イエスさまはそういう人たちは「不幸だ」と言われます。何故ならば、神が与えられたいのちを共に喜び生きることを神は願っているからなのです。

【西脇慎一】

日本バプテスト連盟 神戸バプテスト教会 牧師 西脇慎一

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com 事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com

主日礼拝	毎日曜日	午前10:30~11:45
共育のひろば	毎日曜日(第3週除く)	午前11:45~12:40(次回は12/12です。)
	(幼児クラス・小学生クラス・中高生クラス・成人クラスA・B・C)	
幼稚園C・S	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
ひまわりひろば	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
月曜ひろば	第1・3月曜	午前9時半~11時(当面お休みです)
祈祷会	毎水曜日	午後7:00~8:15
	第2・4水曜	午前10:30~12:00(当面お休みです)

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入など、
ご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

◆朝 10 時と夜 8 時に共にお祈りの時を持ちましょう。

- 1、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束に向かいますように。
- 2、感染した方々の癒しとご家族の守りと、緊張とストレスの中、診療に当たられている医療従事者を始め、福祉職の方々、人々の日常生活を支えている多くの方々の守りのために。
- 3、コロナ禍で経済的な困難の中にいる個人事業主、非正規雇用の方々の守りのために。
- 4、子どもたちの心の守りと成長の祝福。そしてご家庭の守りのために。
- 5、光の丘幼稚園の園児・保護者・教職員の守りのために。主の守りと導きをお祈りください。
- 6、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 7、ミャンマーで起きている市民への弾圧からの守りのために。自由と平和が実現しますように。
- 8、イスラエルとパレスチナ、アフガニスタンに住む人々のいのちの守り、平和と和解のために。
- 9、自然災害が増えています。猛暑や台風や局所的な豪雨の被害に遭われた方々の為に。
- 10、全国的に緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ不安の中におられる方々がおられます。それぞれの場所で献げられる礼拝のために、信仰生活、心と体のご健康の守りのために。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 317 の教会・伝道所のために。また関西地方教会連合の36教会のために。特に無牧師の神戸新生。休会中の神戸国際、大阪旭のためにお祈りください。
- ◆今年度の連盟の定期総会は、「書面総会」です。27 日(土)、議案説明会が Zoom で行われます。当教会からの代議員は、永瀬睦臣さん、南原真生さん、西脇慎一牧師です。

交読「都に上る歌」 詩編 126 編

都に上る歌。主がシオンの捕われ人を連れ帰られると聞いて

わたしたちは夢を見ている人ようになった。

そのときには、わたしたちの口に笑いが
舌に喜びの歌が満ちるであろう。

そのときには、国々も言うであろう

「主はこの人々に、大きな業を成し遂げられた」と。

主よ、わたしたちのために／大きな業を成し遂げてください。

わたしたちは喜び祝うでしょう。

主よ、ネゲブに川の流れを導くかのように

わたしたちの捕われ人を連れ帰ってください。

涙と共に種を蒔く人は

喜びの歌と共に刈り入れる。

種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は

東ねた穂を背負い／喜びの歌をうたいながら帰ってくる。